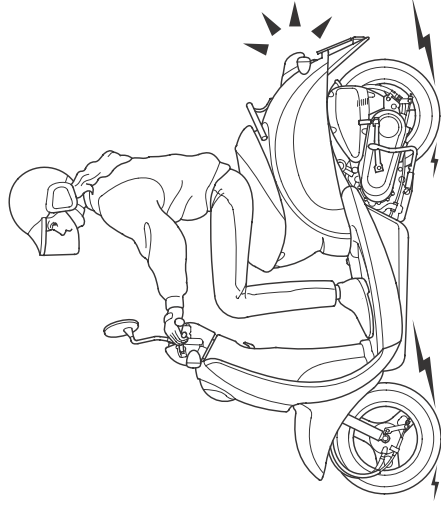


3 正しい走りかた

不必要な急ブレーキは避けましょう。急激なブレーキ操作は、タイヤをロックさせ車体の安定性を損なうおそれがあります。

●雨天走行や路面が濡れている場合、タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。スピードを落として、余裕をもったブレーキ操作をしてください。



雨の日は、とくに慎重に走りましょう。

●雨の日や路面がぬれているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキをかけるなど余裕をもって操作しましょう。

●下り坂では、スロットルグリップを戻して速度に応じてブレーキをかけながらゆっくり走りましょう。

●連続的なブレーキ操作は、ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので避けてください。

●水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。

水たまりを走行した後などは、安全な場所所周囲の交通事情に十分注意し、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認してください。もし、ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキのしめりを乾かしてください。

●雪道や凍った道はすべりやすいので十分に気をつけて、ゆっくり走りましょう。